

校長室から

平成30年6月6日

1年生 校外学習から

「楽しく笑う温かい空気」

5月24日(木)、1年生は校外学習を実施しました。1年生にとっては初めての校外での体験学習でしたが、多くの生徒にとって充実した活動になったようです。生徒の作文から、中学生になった自覚、体験学習での思い、仲間の大切さ等が、それぞれの言葉で表現され、とてもうれしく思います。その中で、とても印象に残った作文を一部ですが紹介します。

・・・移動中のバスの中でのことです。レクリエーションやお菓子交換のとき、車内は笑顔や笑い声であふれていました。だれも、他の人をからかったりして笑うのではなく、みんなが楽しく、良い気分で笑っている、温かい空気だったと思います。また、今までしゃべったことがなかった人とも、バスの中での移動を通して仲良くなることができました。約2時間バスに乗っていましたが、楽しいことがたくさんあり、「もう着いたんだ。」と思うくらい、時間があっという間に過ぎました。校外学習のスタートから楽しい気分になり、楽しませてくれたクラスのみんなに感謝しています。

入学してから二ヶ月が経過しようとしている1年生ですが、日々の学習、部活動への参加等で小学校の生活とは大きく変化したと思います。そのような中での校外学習。作文からは、クラスでのバスの雰囲気や、バスの中だけではなく、毎日の生活がイメージできます。5月はいじめ防止「きずな」キャンペーン期間ですが、作文からは、集団での雰囲気がとてもよかった事で、充実した活動になった事がよく分かります。

「他の人をからかったりして笑うのではなく、みんなが楽しく、良い気分で笑っている」

とてもほのぼのとした気持ちになる文章です。5月の集会で生徒会事務局からよどんだ空気になってはいけないという事が話されましたが、この作文からクラスの澄み切った空気がイメージできます。きっとそれは自然に発生した空気であると同時に、1年生の生徒達が他者の事にも気遣いながら、みんなで努力して創り上げた雰囲気なのだと思います。

1年生の作文を読むと、「小学校とは大きく異なる体験学習でびっくりした。」「体験の内容が高度になった。」「中学生になった事を実感した」という内容も多くありました。田植え体験では、現地の方から「仕事だと思って真剣に取り組んでほしい。」というお話があり、その言葉が生徒達の体験学習に向き合う姿勢をより真剣にさせたものと思います。そして、大人が呼び掛けた事に対してすぐに対応できる感性が素晴らしいと思います。

その他にも「新しい仲間との出会い」「友達への感謝」「人の気持ちの理解」「職業の大変さ」「自然のすばらしさ」等が記されています。そして、先生方への感謝の気持ちを綴ってくれた生徒も複数いました。1年生も短期間ですが、確実に成長しています。このような感性を持ち、学校生活を送っていくことによって、学年の雰囲気がさらによくなり、個々人が成長できる素晴らしい土台が築き上がると思います。体験は言葉も豊かにします。充実した体験が生徒の作文になって表現されています。1年生の成長を頼もしく思いました。